

予報期間 11月23日から11月29日まで

◆今期間のポイント

<主要しょう乱の概要>

- 25日は、低気圧が日本海に進む。
- 26日は、低気圧が発達しながら日本の東を北東に進み、大陸の高気圧が西日本に張り出す。
- 27日は、高気圧が日本付近を通過し、低気圧が日本海に進む。
- 28日から29日にかけて、低気圧がサハリン付近に進み、大陸の高気圧が西日本に張り出す。

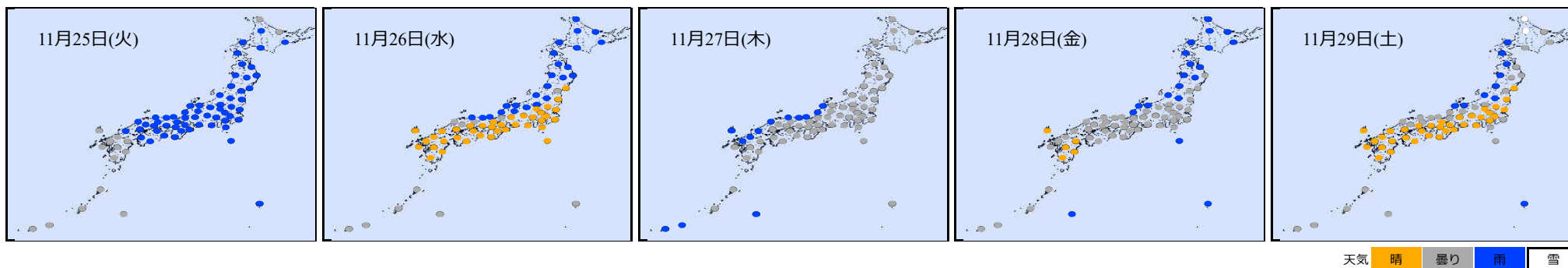
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 26日頃は、低気圧の影響で北日本を中心に荒れた天気となり、低気圧の発達の程度等によっては大荒れとなるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

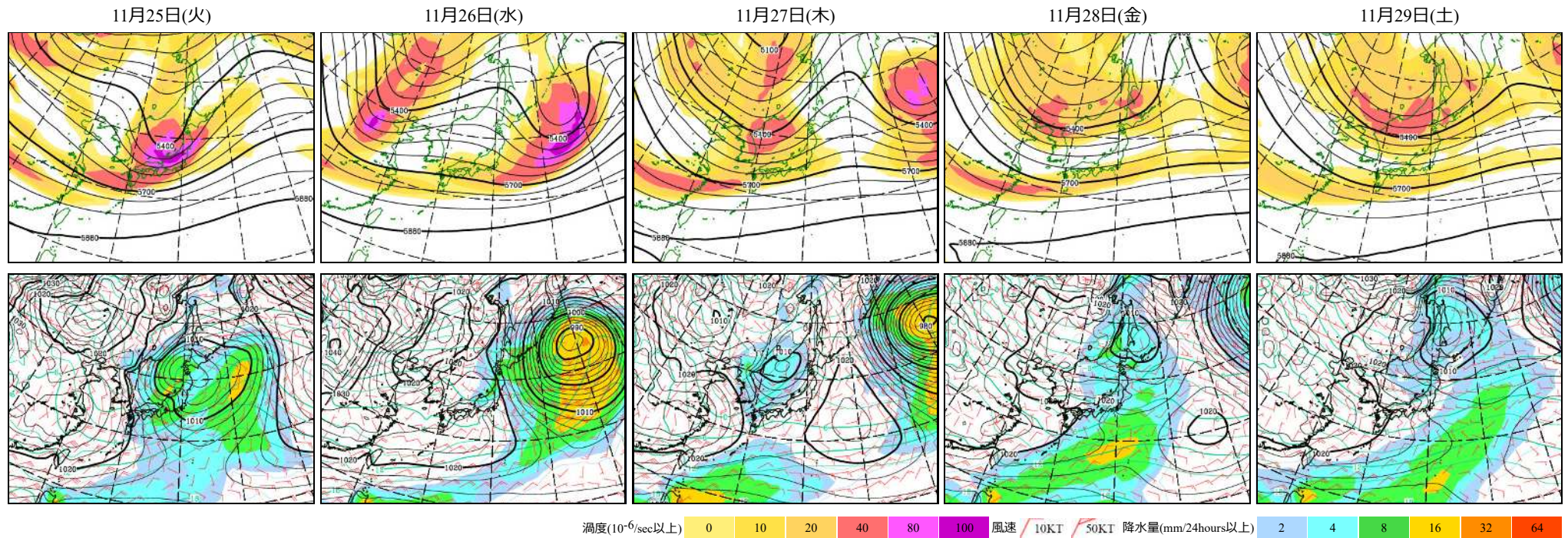
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

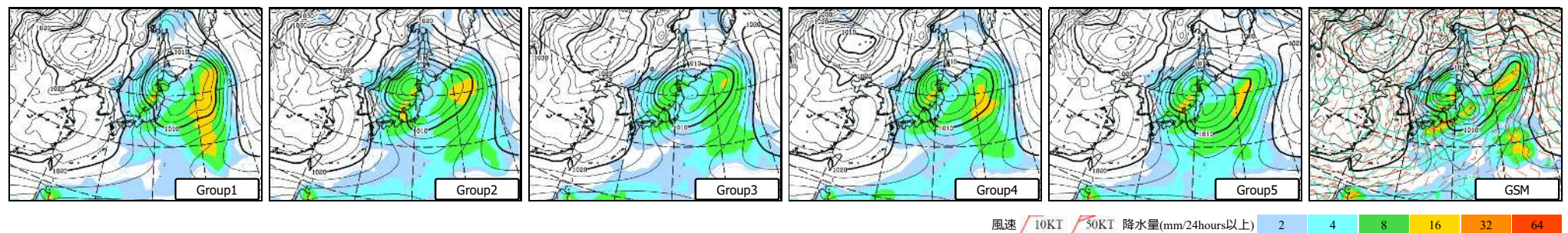


- 北日本と東日本から西日本にかけての日本海側は、曇りや雨または雪の降る日が多い。
- 東日本から西日本にかけての太平洋側は、晴れまたは曇りの日が多いが、25日は雨の降る所が多い。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく、27日と28日は雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆11月25日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、25日に日本海に進むトラフがやや深くなり、26日に日本付近に進むリッジが強まった。28日に北日本に進むトラフは浅くなり、29日は日本付近にトラフが進む予想になった。地上の気圧配置の予想は、25日に北日本付近に進む低気圧の位置がやや南になり、発達程度は弱くなった。
- 25日に日本海に進むトラフは、各モデルともにやや深まる傾向になった。26日の低気圧の予想には、引き続きモデル間の差がある。27日以降は、初期値変わりが大きいモデルもあるが、昨日と比べるとモデル間の差は小さくなった。
- 25日の日本海の低気圧は、GSM、ECM、NCEPは秋田沖でおおむね揃っている。ENS平均図では低気圧は東北部付近に位置しているが、個々のメンバーでは秋田沖や北海道の西付近に予想するメンバーが多い。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。